

こども医療費助成事業
について



大豆生田 春美 議員

質問…償還払いの申請をしている方の割合を伺います。

答弁…国保分のみをお答えします。小学1年生から高校3年生までにおける償還払いの申請割合は、令和2年度で68.9%です。

質問…中学3年生まで現物給付にする考えはあるか伺います。

答弁…現物給付を実施した場合、安易な受診による過剰診療、いわゆるコンビニ受診や、医療費

総額及び医療費助成額の増加が懸念されるので、公平性の確保や適性受診を図るために、現時点では県の制度に従っています

が、多くの議員からの熱い情報もあり、市長会または町村会からも多く提出された統一要望になつてきています。鑑みて県が現物給付拡大について検討しているところですので、本市としては、前向きに対応してまいり

たいと考えています。
質問…前向きとは、いつが目標か伺います。

答弁…年度途中という訳にはいかないと思いますので、新たな年度に向けての予算編成の措置の中で組み込めれば前向きという言葉に沿うようになるのかなというところで、ご期待していただければと思います。

一般質問



新巻 満雄 議員

黒羽刑務所閉庁後の
利用について

質問…閉庁後の利活用について伺います。

答弁…法務省は、民間企業からの活用提案を募るために、RFIを実施する準備を進めています。様々な専門知識やノウハウを有する事業者から公募の前段階として、実用性の高い情報を収集する手法です。これで得られた情報を活用して、利活用に係る公募を行い、事業者を選定

する運びとなります。令和3年度内に公募の手続きを開始する計画ですが、今後の公募において建物及び敷地の活用が全て決定しない場合には、令和4年度以降も活用提案の募集を継続すると聞いています。令和4年4月以降も引き続き法務省が施設全体の管理は行い、その管理の下、民間企業等の活用が徐々に図られるものと考えています。

質問…本市として、どのような活用が望ましいと考えているのか伺います。

答弁…これまで黒羽刑務所は、地域の雇用を支えてまいりました。この黒羽刑務所が廃庁になりますと、そこに関連してきた業者ですとか看守等もいなくなりますので、新たな雇用が生まれる企業の進出というものを一番期待しています。

※注釈 RFIとは企業や官庁などが業務の発注や委託などを計画する際、発注先候補の業者に情報提供を依頼する文書。